



スポーツ秋田

題字：辻 兵吉 元県体協会会長



成年女子A ジャイアントスラローム 優勝 向川桜子〔早稲田大学〕



成年男子B スペシャルジャンプ
2位 高橋大斗〔(株)土屋ホーム〕



女子リレー 2位 本県のアンカー・大森菜保子(右)〔秋田ゼロックス(株)〕



少年女子 ジャイアントスラローム 2位 沼森愛奈〔花輪高校〕

(写真提供：秋田魁新報社)

contents

- ◎やまがた樹氷国体グラビア 2
- ◎第69回国民体育大会冬季大会競技結果
秋田県選手団入賞者一覧 3
- ◎第69回国民体育大会冬季大会入賞者インタビュー 4
- ◎オリンピック特集『ソチオリンピックを観戦して』
全日本スキー連盟 会長 鈴木 洋一 6
- ◎オリンピック特集『ソチ冬季五輪取材記』
秋田魁新報社 中田 貴彦 7
- ◎平成25年度秋田県スポーツ賞受賞者 8
- ◎人見スポーツ賞・畠沢国体賞・辻ジュニアスポーツ大賞 11
- ◎平成25年度全国高等学校総合体育大会成績 12
- ◎全国高等学校スキー大会入賞者インタビュー 13
- ◎平成25年度東北・全国中学校体育大会(冬季大会)
秋田県選手上位成績一覧 14

- ◎全国中学校スキー大会入賞者インタビュー 15
- ◎強化拠点校紹介
秋田県立秋田工業高等学校 陸上競技部 16
秋田市立秋田商業高等学校 サッカー部 18
秋田県立金足農業高等学校 相撲部 20
- ◎スポーツ科学センターだより
平成26年度事業予定 22
- ◎平成25年度秋田県中学生強化選手競技力向上研修 24
- ◎平成25年度秋田県競技力向上研修 26
- ◎スポーツ秋田この一年 27
- ◎賛助会員 28
- ◎寄付名簿 29
- ◎(公財)秋田県体育協会だより・会議録(抄)・編集後記 30

やまがた樹氷国体



本県選手団結団式 ファイトコール



開始式 本県選手団の旗手
馬淵 源 (旭川大学)



成年女子A ジャイアントスラローム
優勝 向川桜子 (早稲田大学)



成年男子B ジャイアントスラローム 3位
生田康宏 (東京美装興業(株)鹿角事業所)



成年女子B 5kmクラシカル 5位
大森菜保子 (秋田ゼロックス(株))



成年男子B コンバインド 2位
高橋大斗 ((株)土屋ホーム)



女子リレー 2位
前列右から田中、藤田後列右から石垣、大森



少年男子リレー 4位
3走・木村から4走・畑澤につなぐ



成年男子リレー 8位
2走・高橋から3走・大川につなぐ



表彰式 女子総合成績 優勝
高久臣一、佐藤有一 (本県選手団副団長)



少年男子 リレー 4位 後列左から 板橋、田中、木村、畑澤
成年男子 リレー 8位 前列左から 板橋、高橋、大川、大森



第69回国民体育大会冬季大会競技結果

◆秋田県選手団入賞者一覧◆

【スキー競技】 平成26年2月21日(金)～24日(月)

アルペン(蔵王温泉スキー場ハーネンカムコース) クロスカントリー(上山・坊高原クロスカントリー競技場) ジャンプ(山形市蔵王ジャンプ台)

順位	得点	種別	種目	氏名	所属
1	8	成年女子A	ジャイアントスラローム	向川 桜子	早稲田大学4年
2	7	少年女子	ジャイアントスラローム	沼森 愛奈	花輪高校2年
	7	成年男子B	スペシャルジャンプ	高橋 大斗	(株)土屋ホーム
	7	成年男子B	コンバインド	高橋 大斗	(株)土屋ホーム
	7	女子	リレー	田中 きらり	花輪高校2年
				藤田 菜々瀬	秋田北鷹高校1年
				石垣 寿美子	秋田ゼロックス(株)
大森 菜保子	秋田ゼロックス(株)				
3	6	成年男子B	ジャイアントスラローム	生田 康宏	東京美装興業(株)鹿角事業所
	6	成年男子B	スペシャルジャンプ	小山内 佳彦	東京美装興業(株)鹿角事業所
	6	少年男子	スペシャルジャンプ	小山内 鴻佑	花輪高校2年
	6	成年女子B	5kmクラシカル	石垣 寿美子	秋田ゼロックス(株)
4	5	少年男子	コンバインド	宮崎 翔太	花輪高校2年
	5	少年女子	5kmクラシカル	藤田 菜々瀬	秋田北鷹高校1年
	5	少年男子	リレー	板橋 健太郎	花輪高校3年
				田中 聖土	花輪高校3年
				木村 壮志	秋田北鷹高校2年
畑澤 壱希	花輪高校1年				
5	5	成年男子A	ジャイアントスラローム	廣瀬 孝尚	法政大学3年
	4	成年女子B	5kmクラシカル	大森 菜保子	秋田ゼロックス(株)
6	3	少年女子	ジャイアントスラローム	田村 彩華	花輪高校3年
	3	成年男子B	コンバインド	月居 克夫	小坂高校教
8	1	成年男子A	コンバインド	高橋 駿也	東海大学3年
	0	成年男子B	コンバインド	成田 巨樹	小坂製錬(株)
	1	少年女子	5kmクラシカル	中嶋 愛莉	秋田北鷹高校3年
	1	成年男子	リレー	板橋 達基	日本大学3年
				高橋 涼	東京農業大学4年
大川 翔平				東京農業大学3年	
大森 亘	秋田ゼロックス(株)				

競技得点ルールによる点数変更

入賞数 20 合計 93.0(41.0)点 ()は皇后杯得点

■第69回国民体育大会冬季大会スケート競技会・アイスホッケー競技会 総合成績

男女総合成績(天皇杯)・得点 29位 20.0点 [10点(スケート参加得点)+10点(アイスホッケー参加得点)]

女子総合成績(皇后杯)・得点 一位 0.0点 [参加得点なし]

■第69回国民体育大会冬季大会スキー競技会 総合成績

男女総合成績(天皇杯)・得点 4位 103.0点 [93.0点(競技得点)+10点(参加得点)]

女子総合成績(皇后杯)・得点 1位 51.0点 [41.0点(競技得点)+10点(参加得点)]

■第69回国民体育大会冬季大会 総合成績

男女総合成績(天皇杯)・得点 12位 123.0点 [93.0点(競技得点)+30点(参加得点)]

女子総合成績(皇后杯)・得点 13位 51.0点 [41.0点(競技得点)+10点(参加得点)]



第69回国民体育大会冬季大会 入賞者インタビュー



向川 桜子 成年女子A ジャイアントスラローム 優勝

- ◆所属先 早稲田大学4年
- ◆出身 朝倉小学校-鳳中学校-角館高校

Q1 今大会の結果（優勝）について感想を聞かせてください。

昨年のおきた鹿角国体では満足のいく結果を残すことができなかったため、今年はその借りを返すつもりでまずは今の自分の力を確実に実に出そうと強く思って国体に挑みました。秋田県のみなさんのサポートや応援もあり、結果的に優勝という形に結びついて個人的に満足はしています。

Q2 アスリートとして日頃から心掛けていることを教えてください。

調子の波は誰にでもあると思うのですが、特に調子が悪いときの心の持ち方であったり、思考・行動・言動には気を付けています。悪い方に考えれば考える程気持ちも下がり、それに伴い悪いオーラも出てしまい自分で自分を駄目にしてしまわないように無理矢理にでも常に前向きに考えています。

Q3 競技力向上のために努力していることを教えてください。

コーチとのコミュニケーションを一番大事にしています。コーチと選手の信頼関係が成り立たなければいざ試合になったときに頼るものがなくなってしまうからです。技術的な話はもちろん日常生活でも積極的に会話をしています。技術に関しては理解するまで話し合うことによって、密度の濃いトレーニングができ競技力向上につながっていると思います。

女子リレー 2位



1走 田中きらり

- ◆所属先 花輪高校2年
- ◆出身 花輪北小学校
花輪第一中学校



2走 藤田菜々瀬

- ◆所属先 秋田北鷹高校1年
- ◆出身 合川東小学校
合川中学校



3走 石垣寿美子

- ◆所属先 秋田ゼロックス(株)
- ◆出身 十和田小学校
十和田中学校
十和田高校
日本大学



4走 大森菜保子

- ◆所属先 秋田ゼロックス(株)
- ◆出身 草木小学校
十和田中学校
花輪高校
専修大学

Q1 女子リレーの各走順を務めるにあたってどのようなことを心掛けてレースに臨みましたか。

- (田中) リレーの1走は高校に入ってから初めてだったので、まずはスタートで失敗しないように、最初から前に出て滑ることと、1秒でも速く2走につなげられるように、後ろは気にせず、前だけを見て滑ることを心掛けました。また、支えてくれたたくさんのスタッフやコーチの方々に、感謝の気持ちをこめてレースに臨みました。
- (藤田) 国体のリレーに出場するのは初めてだったので少し緊張しましたが、自分の滑りをしっかりできるように心掛けました。2走はとても大切な区間だと思っていたので、そこで自分のできることを精一杯がんばろうと思いました。
- (石垣) 3走を務めるにあたり心掛けたことは、リレーはフリー走法ということで私自身得意種目でもありましたので自信を持ってレースに臨むことができました。また、前走者からしっかりとタッチを受け、アンカーに良い流れでリレーすることを心掛けました。しっかりと良い流れでリレーすることができ、自分の仕事をする事ができたと思います。
- (大森) リレーの最終走者の役割は、最後いかに良い順位でゴールするかということだと思います。そのため、いつものレースでは前半から速いペースで滑ることを意識していますが、リレーでは他県の選手の様子やコースレイアウトを考えながら滑るよう意識しました。どの順位でタッチを受けても優勝するためのレース展開をしようとして心掛けてレースに挑みました。

Q2 今大会の結果（女子リレー2位）について感想を聞かせてください。

- (田中) 昨年からずっと国体のリレーで優勝することを目標にがんばってきたので、個人的には2位という結果にあまり満足していません。でも、小さい頃からずっとあこがれていた大森菜保子さんと石垣寿美子さんと一緒にリレーを組むことができて、とても良い経験になったし、課題もたくさん見つけることができました。来年はその課題を克服して絶対に優勝したいです。
- (藤田) 優勝することを目標にして臨んだレースだったので、それを達成することはできませんでしたが、表彰台に立ててうれしかったです。自分の滑りには満足していませんが、みんなに助けられて2位になることができました。



- (石垣) 今回のリレーでは、昨年の優勝に続き2連覇を目標に挑みましたが、惜しくも2位という結果に終わってしまいました。しかし、結果は2位でしたが、レース内容としては1位と僅差という素晴らしいレースをすることができました。リレーメンバー全員が優勝を目指し全力で挑んでの2位でしたので大変悔しい思いですが、今回の悔しさを忘れることなく来年以降の大会でリベンジできるようにがんばっていききたいと思います。
- (大森) 連覇の掛かった大切なレースであったと思います。最後ゴールで競り負けてしまい悔しい気持ちでいっぱいでしたが、秋田県チーム一丸となってつかんだ2位はとても嬉しく思います。一緒に滑った高校生やサポートに回ってくれた選手には、このレースで感じたことを今後の成長の糧にしてもらいたいです。また、応援して下さいました方やサポートして下さいましたスタッフの方、皆さんに感謝したいと思います。

Q3 今大会に臨むにあたって工夫したことを教えてください。

- (田中) 一つ目は体調管理と食事です。少しでも気が緩んだり、油断していると体調を崩しやすいので、万全な体調で臨むために、手洗い、うがいをしっかりしたり、3食しっかり食べて風邪を引かないようにすることを心掛けました。二つ目は、ドーピング検査があるので、薬をあまり飲まないように心掛けました。
- (藤田) 疲れがたまらないように、練習、睡眠、食事のバランスを考え、レースの時に体が動くように心掛けました。試合の前は何度もレースのイメージをしてモチベーションを高めるようにしました。
- (石垣) 今回の国体ではベストコンディションで試合に臨むことを心掛け、体調管理はもちろんですが毎日のトレーニング後のコンディショニングに力を入れて生活しました。しっかりと身体のアフターケアをすることで試合に向けてのトレーニングもしっかり行うことができ、大会では自信を持ってレースをすることができました。
- (大森) 宿からコースまで移動時間が長かったため、一日一回の雪上トレーニングで調整を行いました。普段は、大会期間中もトレーニング時間を落さないよう意識しているので、トレーニング時間を確保できないことに不安もありました。しかし、体調をしっかり合わせるチャンスだとプラス思考にとらえて、心身ともに充実した状態で大会に臨むことができましたと思います。



小山内佳彦

成年男子B スペシャルジャンプ 3位

- ◆所属先 東京美装興業(株)鹿角事業所
- ◆出身 尾去沢小学校-尾去沢中学校-花輪高校-日本大学

Q1 今大会の結果(3位)について感想を聞かせてください。

今回の国体では、目標としていた表彰台に上がることができ、とても満足しています。現役選手と勝負することを楽しみにしていたので、その中で成績を出せたことは自分でもとてもうれしかったです。

Q2 第一線を退いてからのトレーニング時間はどのように確保していますか。

現役の時よりもトレーニングする時間が限られているので、仕事が終わった後や休日の時間を使って、自分のできる範囲内で体を動かしています。また、ワールドカップや国内大会の試合を見て、どうすれば上手に飛べるか研究しています。

Q3 昨年に引き続き3位入賞を果たした原動力を教えてください。

一番はスキージャンプが「大好き」ということです。結果にとらわれず、楽しく飛んでいることが成績にも表れているのだと思います。そして1歳になった息子に、父親のがんばっている姿を見せたいという思いもあって、それが原動力となりました。



月居克夫

成年男子B コンバインド 6位

- ◆所属先 小坂高校教
- ◆出身 阿仁合小学校-阿仁中学校-鷹巣農林高校-日本大学

Q1 今大会の結果(6位)について感想を聞かせてください。

入賞できたことはすごくうれしかったのですが、今回の結果には満足してはいけなと思っています。体調管理の面で大きな反省点があり大会までしっかりと調整ができなかったことやメンタル面での課題、まだまだできることがあったと思っているからです。来年は反省点を生かし表彰台を目指していきたいと思っています。

Q2 スキー部の監督として部員の指導に力を注がれていますが、自身のトレーニング時間はどのように確保していますか。

生徒の練習が終わってから時間を見つけて練習に取り組んでいました。合宿であれば選手の起床時間前にランニングをしたり、夕食後に練習するようにしていました。また練習内容によっては生徒と一緒に練習することもありました。

Q3 指導者の立場でありながらも国体選手として競技を継続しているモチベーションを教えてください。

私の場合は指導者の立場というのが大きいので生徒の見本になることを常に考えて取り組んでいます。体力は衰えてきているがそれでも必死に自分にできることに取り組むことで、生徒には技術面だけではなく精神面においても伝えられると信じています。自分の競技に向かっている姿勢が少しでも多くの選手にプラスの影響を与えられればというのが今の自分を支えているモチベーションです。



オリンピック特集



ソチオリンピックを観戦して

公益財団法人 全日本スキー連盟
会長 鈴木 洋一

ロシアのソチで開催された冬季オリンピック、私も全日本スキー連盟会長として現地に行き、選手たちに声援を送って参りました。今回のオリンピック、日本選手団は8個のメダルを獲得致しましたが、そのうちの7個がスキー、スノーボード、全日本スキー連盟の傘下にある種目です。実はスキーでは過去2回のオリンピック、トリノ、バンクーバーでは、メダルを獲得することが出来ませんでした。その反省の上で立て「メダル奪回戦略室」を立ち上げ、有望種目に的を絞って強化をしてきた、その成果が現れたのだと思います。



今回のオリンピックでは一番予想外だったのが、高梨沙羅選手がメダルを取れなかったことです。日本選手団の中でも最も金メダルに近いと言われていたのが高梨選手でした。それまで彼女はワールドカップ13戦中10勝、ジュニア世界選手権も優勝、1度も表彰台を逃しておりません。そんな選手でもオリンピックの表彰台に登れない、わからないものです。

あの日、2月11日でしたが、女子ジャンプが始まるのは夜の9時半、その前に午後からスノーボードハーフパイプの予選が始まるというのでまずはそちらの会場にいきました。予選ではアメリカのショーンホワイト、そして平野選手、平岡選手の3人が図抜けており難なく決勝に進みましたので、この分ならどちらかがメダルを取ってくれるだろうと、スノーボード会場を後にし、ジャンプ会場に向かい、ジャンプ台脇のスタンドに陣取ったのです。

本番前の試技では高梨選手がトップでしたので安心しておりました。1本目3位でしたが、それでもまだ逆転優勝できると思っておりました。2本目が始まる前にスノーボードハーフパイプで平野選手、平岡選手が銀、銅を獲得したというニュースが飛び込み、よしやったと大喜びをし、今度は高梨選手が金だと期待しながら見ておりましたが、残念ながら結果は思いもしない4位に終わってしまいました。プレッシャーでしょうか、彼女も本当に悔しかったと思います。よくオリンピックには魔物がいると言われるますが、まさに彼女にとっての魔物がいたのだと思います。しかしその敗戦のショックから立ち直り、オリンピック後のワールドカップで連勝し、ワールドカップ総合優勝2連覇の偉業を成し遂げたのはさすがです。

高梨選手の表彰台は見ることはできませんでしたが、ノルディックコンバインドノーマルヒル渡部暁斗選手の銀メダルは見ることはできました。前半ジャンプ2位につけ、1位とわずか6秒差で後半クロスカントリーに臨むことになりました。1周2.5kmコースを4周10kmです。スタート直後すぐトップに並び、1周、2周、3周とどちらも譲らずデッドヒートを繰り広げ、4周目も観戦スタンド前のトラックに入ってくる少し前まで渡部選手がわずかにリードだったのですが、トラックに入る直前にスパートをかけた相手にかわされ、4秒差2位でゴールでした。しかし見ごたえのあるレースで、すばらしい、



そして本人にとっても満足のいく準優勝だったと思います。スタンド総立ちで両者の健闘に大拍手が送られたシーンは、感動的でした。

その感動を胸に、次の日13日に帰国の途に就きましたが、その後、ジャンプラージヒルでレジェンド葛西選手の銀、ジャンプ団体で感動の銅、スノーボード平行大回転竹内選手の銀、そしてフリースタイルハーフパイプ小野塚選手の銅とメダル獲得が続き、今回のオリンピック、全日本スキー連盟にとっては大成功と言っていいと思います。全力で戦ってくれた選手諸君、強化に当たってきた現場の皆さん、それを支えてくれた関係者すべての皆さんに心から感謝申し上げます。



ソチ冬季五輪取材記

～県出身の3選手の健闘を振り返る～

秋田魁新報社 中田貴彦

2月7日から23日までの17日間、ロシア南部のソチで開かれたソチ冬季オリンピックを取材した。

大舞台に臨んだ県出身選手は、2010年バンクーバー大会にも出場したノルディック複合の湊祐介選手(29)＝鷹巣農林高一日大―東京美装＝とバイアスロン女子の鈴木芙由子選手(25)＝米内沢高―自衛隊冬戦教＝の連続出場組と、初出場を果たしたスケルトン男子の笹原友希選手(29)＝秋田中央高―仙台大、システックス＝の計3人。

3人の競技会場はいずれも、黒海沿岸の五輪公園内の会場から北東に50㌔以上離れたクラスナヤ・ポリャーナ地区。コーカサス山脈の高地だった。

県出身選手の先陣を切り、かつ最後を締めたのは、計4種目に出場した鈴木選手。個人種目は10㌔追い抜きの32位が最高で、目標の10位以内には入れなかったが、各種目で日本勢の最高順位だった。最後の女子リレーでは1走を務め、得意の射撃を生かして一時3位に立つなど欧州の強豪を相手に健闘した。

バイアスロンの会場は、5千人収容の観客席付き。欧州でのバイアスロン人気の高さを目の当たりにした。しかも、スタンドだけでなく、コース沿道にも観客が詰めかけた。鈴木選手はそこで戦った。

続いて登場したのは、笹原選手。2レースを2日間行う競技で、最後の4回戦に進むには3回戦までに20位に入る必要があったが、惜しくも22位。1回戦でカーブを曲がる際にミスしたのが響いた。それでも、最後の3回戦で最もいいタイムを出して意地を見せた。

スケルトンの会場、サンキ・スライディングセンターではボブスレー、リュージュの各種目も行われ、五輪期間中はほぼ毎日稼働。欧州でのそり競技の人気をうかがわせた。そう言えば、筆者がプレスセンター内の郵便局で、日本へのはがきに貼る切手を求めた時、渡されたのはスケルトンの絵柄が付いた五輪記念切手だった。

湊選手は登場まで待たされた。2009年世界選手権団体での優勝など実績は十分だが、今大会はジャンプが不調で、個人2試合は控えに回った。満を持して臨んだ最後の種目・団体は5位に終わり、メダルを逃した。

ただ、2走を務めた後半距離では面目を發揮した。タッチを受けた時点で4位が遠く、順位は上げられなかったが、2走を務めた選手の中でトップのタイムを刻んだ。団体の1―3位の国は序盤から駆け引きを展開しただけに、メダル圏内の競り合いの中で走らせたかった。

現地では、全日本スキー連盟(SAJ)会長としてソチ入りした鈴木洋一・県体協会会長にも会った。取材した日の鈴木会長は、昼は五輪公園内のジャパンハウスで2020年東京五輪をPRしたレセプションに出席し、夜はモーグル競技を観戦。モーグル会場では、仙北市たざわ湖スキー場で来年開かれるモーグルのワールドカップを見据え、コースに熱い視線を注いでいた。

筆者は五輪の後のパラリンピックは見られなかったが、スキー距離座位に初出場した江野麻由子選手(16)＝秋田南高1年＝も健闘した。

筆者にとっても初めての五輪は、雰囲気が他の大会とは違った。2年後の夏季リオ、次回冬季の韓国・平昌、6年後の夏季東京での五輪、パラリンピックで、あの特別な舞台に一人でも多く秋田の選手が上ることを期待している。





平成25年度秋田県スポーツ賞受賞者

◆ 功 勞 賞 ◆



秋元 昌 貴
秋田県体育協会相談役



伊藤 碩 士
秋田県剣道連盟相談役



國安 教 善
全日本柔道連盟理事
全日本実業柔道連盟理事
東北柔道連盟副会長
秋田県柔道連盟会長
秋田県体育協会副会長



佐藤 登
秋田県ボクシング連盟副会長



佐藤 有 一
秋田県スキー連盟副会長

◆ 功 勞 賞 ◆



奈良 正 人
秋田県体育協会
スポーツ医・科学委員長



藤原 一 男
秋田県相撲連盟副会長
湯沢市相撲協会会長



細谷 孝二郎
秋田県自転車競技連盟事務局長



伊藤 君 男
秋田市体育協会理事
秋田市体育協会広報委員会委員長
秋田県体育協会事業委員会委員



齊藤 久治郎
八郎潟町体育協会会長

◆ 栄 誉 賞 ◆

◆ 栄 誉 賞 ◆



橋本 五 郎
大仙市体育協会顧問
大仙市体育協会協和支部顧問

◆ 生涯スポーツ賞 ◆

【個人】



(故)高橋アサ子
潟 上 市



森 川 志保子
に か ほ 市



佐藤 秀 弘
井 川 町

【団体】

三輪女子綱引クラブ

三種町マレットゴルフ協会

羽後町

三種町



優秀指導者賞

成 田 聡 陸 上 競 技 秋田西高校

栄 光 賞 【個人の部】

清水航己	陸上競技	秋田西高校1年
藤岡眞也	陸上競技	能代松陽高校3年
相馬絵里子	陸上競技	筑波大学4年
田中瑛之介	水泳	能代第二中学校3年
菊地憲	レスリング	セコム株式会社
大坂昂	レスリング	早稲田大学4年
古城涼真	レスリング	秋田商業高校3年
米澤圭	レスリング	秋田商業高校2年
櫻庭正義	レスリング	日本体育大学2年
天野瑠紀	レスリング	秋田商業高校3年
山田修太郎	レスリング	山王中学校2年
後藤成哉	ウエイトリフティング	能代工業高校3年
佐藤佳奈	ウエイトリフティング	男鹿海洋高校3年
佐々木文平	自転車	大曲農業高校3年
佐々木卓摩	柔道	御野場中学校3年
三浦裕香理	柔道	天王南中学校3年
奈良和	柔道	天王南中学校3年
佐々木光彦	弓道	由利本荘市教育委員会
中村収一	クレー射撃	(株)昭和興業
高橋駿平	ライフル射撃	秋田中央高校2年
佐々木優	カヌー	食彩げんべい
佐々木翼	カヌー	(公財)秋田県体育協会
佐々木空	カヌー	由利高校2年
八嶋拓海	カヌー	本荘南中学校3年
渡部大輔	パワーリフティング	市立秋田総合病院
小林明日香	水泳	筑波大学3年
田中きらり	スキー	花輪高校2年
沼森愛奈	スキー	花輪高校2年
松橋亜希	スキー	東海大学3年
向川桜子	スキー	早稲田大学4年
高橋大斗	スキー	(株)土屋ホーム
小山内佳彦	スキー	東京美装興業(株)鹿角事業所
小山内鴻佑	スキー	花輪高校2年
生田康宏	スキー	東京美装興業(株)鹿角事業所
石垣寿美子	スキー	秋田ゼロックス(株)
湯瀬瞬	スキー	十和田中学校3年
木村吉大	スキー	花輪第二中学校3年
齊藤実祐	スキー	美郷中学校3年



栄 光 賞 【団体の部】

- 平成25年度全国高等学校総合体育大会ボート競技大会
第61回全日本高等学校選手権競漕大会 本荘高等学校チーム
- 第67回全日本総合バドミントン選手権大会 北都銀行
- 第66回全日本バレーボール高等学校選手権大会 雄物川高等学校チーム
- 平成25年度全国高等学校総合体育大会第63回全国高等学校スキー大会 学校対抗 花輪高等学校女子チーム
- 第58回全国高等学校軟式野球選手権大会
第68回国民体育大会高等学校野球（軟式）競技会 秋田商業高等学校チーム
- 第69回国民体育大会冬季大会スキー競技会 クロスカントリー 秋田県女子リレーチーム
- 第69回国民体育大会冬季大会スキー競技会 女子総合 秋田県女子チーム
- 平成25年度全国中学校体育大会第51回全国中学校スキー大会 秋田県女子リレーチーム

奨 励 賞 【個人の部】

安 保 建 吾	陸 上 競 技	東海大学 2年
浅 井 咲 来	陸 上 競 技	釈迦内小学校 6年
伊 藤 暉	相 撲	有浦小学校 5年
楠 瀬 由 佳	バドミントン	(株)北都銀行
佐々木 絵	カヌー	尾崎小学校 6年
多胡島 伸 佳	レスリング	早稲田大学 1年
田 中 聖 土	ス キ ー	花輪高校 3年
藤 田 菜々瀬	ス キ ー	秋田北鷹高校 1年
成 田 楓	ス キ ー	小坂高校 2年
大 槻 周 平	武 術 太 極 拳	秋田大学教育文化学部附属中学校 1年

奨 励 賞 【団体の部】

- B & G杯全国少年少女カヌー大会2013カヤックペア 本荘ジュニアカヌークラブ
- 高松宮記念杯第46回全日本実業団バスケットボール選手権大会 秋田銀行女子バスケットボール部

平成25年度受賞者数一覧

賞	個 人	団 体
功 労 賞	8名	
栄 誉 賞	3名	
生涯スポーツ賞	3名	2団体
優秀指導者賞	1名	
栄 光 賞	38名	8団体 74名
奨 励 賞	10名	2団体 19名
合 計	63名	12団体 93名



平成25年度

人見スポーツ賞受賞者

『成績だけでなく、当該年度に、スポーツのよさ、美しさ等を発揮して県民に深い感動を与え、強く心をひきつけたもの』

○個人の部

向川 桜子(スキー 早稲田大学)

- ・第69回国民体育大会冬季大会スキー競技会 大回転成年女子A 1位
- ・秩父宮杯・秩父宮妃杯第87回日本学生スキー選手権大会 女子1部 回転競技 1位

○団体の部

秋田県スキー連盟

- ・第69回国民体育大会冬季大会スキー競技会 女子総合 1位(5連覇)

畠沢国体賞受賞者

『国民体育大会において優秀な成績を収め、本県スポーツの振興に著しく貢献したもの』

○個人の部

清水 航己(陸上競技 秋田西高校)

- ・第68回国民体育大会 陸上競技少年男子走幅跳 1位

佐々木 優 (カヌー・スラローム・ワイルドウォーター 食彩げんべい)

- ・第68回国民体育大会カヌー競技 男子K-1 スプリント 1位

○団体の部

秋田県女子リレーチーム (スキー)

- ・第69回国民体育大会冬季大会スキー競技会 クロスカントリー女子リレー 2位

辻ジュニアスポーツ大賞

『技量優秀で、将来性が認められるもの』

○個人の部

湯 瀬 瞬(スキー 十和田中学校)

- ・平成25年度全国中学校体育大会 第51回全国中学校スキー大会
ノルディックコンバインド 1位

○団体の部

鷹巣中学校チーム (女子駅伝)

- ・平成25年度全国中学校体育大会 第21回全国中学校駅伝大会 女子駅伝 4位



平成25年度 全国高等学校総合体育大会成績(スキー)

順位	種目	選手・学校
2位	女子スラローム	沼森 愛奈 (花 輪②)
	女子学校対抗	花 輪 安保 美里③ 田村 彩華③ 沼森 春奈③ 佐藤永梨花③ 田中きらり② 沼森 愛奈② 本田 優希① 木村 希①
3位	女子5 kmフリー	田中きらり (花 輪②)
4位	女子5 kmクラシカル	田中きらり (花 輪②)
	女子リレー	花 輪 安保 美里③ 田中きらり② 本田 優希①
5位	男子10 kmクラシカル	田中 聖土 (花 輪③)
	女子スラローム	田村 彩華 (花 輪③)
	女子リレー	秋田北鷹 中嶋 愛莉③ 藤田菜々瀬① 佐藤 葵①
6位	女子スラローム	下村 美緒 (角 館③)
7位	女子ジャイアントスラローム	田村 彩華 (花 輪③)
	男子リレー	秋田北鷹 川畑 哲人③ 高橋 幸希② 戸嶋 旭② 木村 壮志②
8位	男子10 kmフリー	田中 聖土 (花 輪③)
	女子5 kmクラシカル	藤田菜々瀬 (秋田北鷹①)
	女子ジャイアントスラローム	下村 美緒 (角 館③)
	男子10 kmクラシカル	木村 壮志 (秋田北鷹②)
9位	スペシャルジャンプ	小山内鴻佑 (花 輪②)
	女子ジャイアントスラローム	沼森 春奈 (花 輪③)
	男子リレー	花 輪 田中 聖土③ 板橋健太郎③ 目時 耀介① 畑澤 壱希①
10位	コンバインド	宮崎 翔太 (花 輪②)

※ ○は学年



女子スラローム 2位
沼森 愛奈 (花輪高校2年)



女子5 kmフリー 3位
田中きらり (花輪高校2年)



男子10 kmクラシカル 8位
木村 壮志 (秋田北鷹高校2年)



全国高等学校スキー大会入賞者インタビュー

女子スラローム 2位



花輪高校 2年 沼森 愛奈 (花輪小学校-花輪第一中学校出身)

Q1. 昨年の覇者として今大会にはどのような気持ちで臨みましたか。

2連覇したいという気持ちは強かったですが、それよりも自分の滑りをするという思いで大会に臨みました。自分の滑りができたら結果はついてくるという自信もあったし、誰よりも練習してきたという自信があったので思い切ってスタートに立つことができました。

Q2. 今大会の結果(2位)について感想を聞かせてください。

優勝しかねらっていなかったのですがごく悔しかったですが、それよりも自分の滑りができなかったことに対しての方が悔しかったです。しかし、2位という結果を残すことができたのは、私を支えてくれた沢山の方々からです。皆様の温かい声援とすばらしいサポートがありスキーができていていることに感謝し、必ず恩を返せるよう今後もがんばっていきたいと思います。

Q3. 今後の目標と課題を教えてください。

今年目標としていたジュニア世界選手権に出ることができず終わってしまったので、来年は必ず出れるようにがんばりたいと思います。そのためにはスキーの技術だったり速さは大事ですが、まずは体から鍛え直し、今まで以上にパワーアップし、来シーズンに向けてがんばりたいと思います。

男子10kmクラシカル 5位 男子10kmフリー 8位



花輪高校 3年 田中 聖士 (花輪小学校-花輪第一中学校出身)

Q1. 今大会にはどのような気持ちで臨みましたか。

昨年の男子学校対抗優勝に続き、2連覇が目標だったので自分が花輪高校に多くの得点を入れるという気持ちで臨みました。また、そのためにも両種目優勝を目指して臨みましたが、結果にこだわりすぎてスキーそのものを楽しみきれなかった感じがあります。それに対する悔しさは今でも残っています。

Q2. 今大会の結果(5位・8位)について感想を聞かせてください。

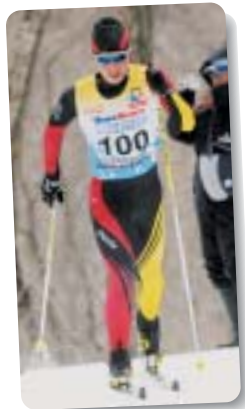
個人種目2冠が目標だったので全然満足していません。両種目ともイメージとは違う滑りで競技を終えてしまいました。クラシカルは体とスキーがマッチせず、フリーは体が心について来ず、不完全燃焼でした。しかし、どちらも後半粘って順位を上げることができました。たくさんの声援のおかげです。ありがとうございました。

Q3. 今後の目標と課題を教えてください。

今年は夏にケガをしてオフシーズンは満足のいくトレーニングができませんでした。シーズンに入ってからもその影響は残ったので、今以上に自分の体の声を聞き、管理を徹底していかなければいけないと思います。大学でもそれを課題とし、トレーニングに励んでいきたいです。目標は4年後の平昌オリンピック出場です。これからも応援よろしくをお願いします。



女子リレー 4位 花輪高校
2走・安保から3走・田中につなぐ



男子 10km クラシカル 5位
田中 聖士 (花輪高校 3年)



女子スラローム 5位
田村 彩華 (花輪高校 3年)



コンパインド 10位
宮崎 翔太 (花輪高校 2年)

(写真提供: 秋田魁新報社)



平成25年度 東北中学校体育大会(冬季大会) 秋田県選手上位成績一覧

競技名	性別	学校名・氏名・学年	種目	成績
【駅伝】 平成25年11月1日(金)～2日(土) 岩手県花巻市 日居城野運動公園周回コース	男	鷹巣 佐藤慎太郎③ 亀山 侑斗③ 畠山 卓士③ 津谷 幸希② 三澤 和季③ 畠山 航洋③ 齋藤 祐也③ 佐藤光之輔① 中嶋 駿介②		1位 58'06"大会新
		花輪一 高畑 弘也③ 三ヶ田 奨② 成田 稜③ 児玉 勇太③ 中田 世那② 山本 祐麻③ 田中 涼③ 山本 光輝③ 佐藤 玲音①		6位 59'51"
	女	鷹巣 藤田正由加② 荻野 真紀① 土田 楓子① 成田 美緒② 三上 優香③ 工藤 千翔① 小松 結貴① 川村 乙綺②		2位 42'28"大会新
		花輪一 黒澤 実紀③ 福島 日和② 大森 優衣① 黒澤瑚友里① 田中 星那① 片岡菜々子③ 工藤 未来② 福島 美羽①		5位 44'38"
【スキー】 平成26年1月24日(金)～26日(日) 青森県南津軽郡大鰐町 ○クロスカントリー 青森あじらクロスカントリーコース ○アルペン 大鰐温泉スキー場雨池コース 秋田県鹿角市 ○ジャンプ 花輪シャンツェ ○コンバインドクロスカントリー 花輪スキー場クロスカントリーコース	男	花輪一 高畑 弘也③ 阿仁 鎌田 偉大③ 合川 高橋 和希②	5Kmフリー	5位 7位 8位
	女	花輪二 成田 生絵③	3Kmフリー	2位
	男	阿仁 鎌田 偉大③ 合川 高橋 和希②	5Kmクラシカル	1位 2位
	女	花輪一 田中 星奈①	3Kmクラシカル	6位
		花輪二 成田 生絵③		8位
	男	花輪一 佐々木快人③ 黒沢 将吾③ 高畑 弘也③ 佐々木卓人③	4×5Kmリレー	5位
	女	花輪二 児玉 滯香② 望月 咲良② 成田 生絵③ 十和田 田原 朱莉③ 蛇沼穂乃香② 黒沢 綾香①	3×3Kmリレー	3位 6位
		男	八竜 見上 竜③	ジャイアントスラローム
	女	花輪一 渡邊 桃花②	ジャイアントスラローム	8位
	男	八竜 見上 竜③	スラローム	3位
	女	美郷 齊藤 実祐③	スラローム	1位
	男	十和田 湯瀬 瞬③		1位
		花輪二 木村 吉大③	スペシャルジャンプ	4位
		尾去沢 宮崎 敬太②		5位
	男	花輪二 木村 吉大③		1位
		十和田 湯瀬 瞬③ 尾去沢 宮崎 敬太②	コンバインド	2位 5位
【スピードスケート】 平成25年12月21日(土)～23日(月) 岩手県盛岡市 岩手県営スケート場	女	秋田東 高橋 海音①	500m	4位
	女	秋田東 高橋 海音①	1000m	2位

入賞(駅伝6位、スキー個人8位・リレー6位、スピードスケート6位)以内

平成25年度 全国中学校体育大会(冬季大会) 秋田県選手上位成績一覧

競技名	性別	学校名・氏名・学年	種目	成績	
【駅伝】 平成25年12月14日(土)～15日(日) 山口県山口市 山口県セブナーパーククロスカントリーコース	女	鷹巣 藤田正由加② 荻野 真紀① 土田 楓子① 成田 美緒② 三上 優香③ 川村 乙綺② 工藤 千翔① 中嶋 夏奈①		4位 41'40"	
	女	花輪一 田中 星那①	3Kmクラシカル	8位	
【スキー】 平成26年2月2日(日)～5日(水) 群馬県利根郡片品村 ○クロスカントリー 尾瀬はたか高原スポーツパーク・クロスカントリーコース ○アルペン スノーパーク尾瀬戸倉 長野県下高井郡野沢温泉村 ○ジャンプ 野沢温泉シャンツェ ○コンバインドクロスカントリー 野沢温泉スキー場南原クロスカントリーコース	女	花輪二 成田 生絵③	3Kmフリー	8位	
	男	秋田選抜 合川 土濃塚悠成② 阿仁 鎌田 偉大③ 合川 高橋 和希② 花輪一 高畑 弘也③ 花輪二 木村 龍也③ 花輪二 菩提野大将② 桧木内 阿部 大樹③	4×5Kmリレー	4位	
		女	秋田選抜 花輪二 児玉 滯香② 花輪一 田中 星那① 藤里 加藤 萌② 花輪二 成田 生絵③ 花輪二 望月 咲良② 生保内 鈴木 雅③ 森 吉 田崎 愛②	4×3Kmリレー	3位
			女	美郷 齊藤 実祐③	スラローム
	男	十和田 湯瀬 瞬③		6位	
		尾去沢 宮崎 敬太②	スペシャルジャンプ	10位	
		十和田 湯瀬 瞬③ 花輪二 木村 吉大③ 尾去沢 宮崎 敬太②	コンバインド	1位 3位 8位	

入賞(駅伝8位、スキー10位)以内



全国中学校スキー大会入賞者インタビュー



コンバインド 優勝 スペシャルジャンプ 6位

十和田中学校 3年 湯瀬 瞬 (大湯小学校出身)

Q1. 今大会の感想を教えてください。

今回の大会は、ライバルと楽しく競技することができました。今シーズンは、とても良い収穫ができたと思うので、この大会をスタートとして次の大会もがんばりたいです。自分がこの大会で結果を出せたのも多くの人の支えがあったからで、コーチや先生に本当に感謝しています。

Q2. 競技力向上のために日頃から心掛けていることを教えてください。

毎日の練習で一本一本集中して飛ぶことです。課題がたくさんあるので、みんなより多く本数を飛ぶようにがんばっています。また、上手な人のジャンプを見たり、コーチのアドバイスをもらって大きめにイメージして取り組んでいます。さらに、風邪をひいてしまったらすべてが水の泡になってしまうので、体調管理にも気を付けています。

Q3. 今大会の勝因を教えてください。

去年の反省を生かして一年間努力したからだと思います。また、楽しくライバルと戦うことができたことはもちろんですが、一番は朝から夕方までフックテストをしてくれてたコーチ、寒い中サポートや応援をしてくださった先生方のおかげです。



女子スラローム 3位

美郷中学校 3年 齊藤 実祐 (千屋小学校出身)

Q1. 今大会の感想を教えてください。

中学校最後の大会なので、今まで練習してきたことを出しきり悔いは残さないという気持ちで臨みました。昨年は自分の滑りができず悔いが残る大会となってしまったので、今年は自分の滑りを出しきり、悔いなく終わることができて良かったです。目標としていた表彰台に立つことができてとてもうれしかったです。

Q2. 競技力向上のために日頃から心掛けていることを教えてください。

イメージトレーニングを大事にしています。何度もイメージを繰り返し常にスキーの動きを考え、トップの選手の滑りも参考にし研究しています。また、怪我をしないためにも、練習後のケアは欠かさずしています。

Q3. 今大会の勝因を教えてください。

沢山の方々サポートや応援のおかげだと思います。自分一人で結果を出すことはできなかったと思うし、後押ししていただいた沢山の方々へ感謝しています。応援して下さった方々に結果として恩返しできたのでうれしいです。



コンバインド 優勝
湯瀬 瞬 (十和田中学校 3年)



女子スラローム 3位
齊藤 実祐 (美郷中学校 3年)



女子リレー 3位 秋田選抜
3走・加藤(右)からアンカー・成田につなぐ

(写真提供：秋田魁新報社)



強化拠点校紹介

秋田県立秋田工業高等学校 陸上競技部



学校データ

明治37年5月、工業技術者の養成を目的に県立工業学校として開校。昭和23年に、学制改革により県立秋田工業高等学校となり現在に至る。機械科・電気エネルギー科・土木科・建築科・工業化学科の5つの科からなり、体育部は19部が活動。これまでも遠藤幸雄氏(体操競技)や落合博満氏(野球)など多くのトップアスリートを輩出している。校訓には「質実剛健」を掲げ、秋田県及び日本や国際社会に貢献し、工業界の発展に寄与する人間の育成に努めている。



チーム紹介



現在は1・2年生18名で活動。湊谷春紀選手をキャプテンに、今冬は3年ぶり19回目の都大路(全国高校駅伝)出場を果たした。また、在校生のみならず、正月恒例の箱根駅伝では秋工陸上部OBが、それぞれ各大学の代表として堂々とたすきをつないだ。年内数多くの大会や記録会等があり、選手たちも相当のタフなスケジュールの中で取り組んでいる。県外遠征も精力的にこなし、他の強豪校と競い充実したレベル

アップを図っている。冬期間のトレーニングは安全性が一番の課題。練習場所の確保には苦慮しながらも、指導者の工夫と努力により多くの人々の協力を得て雪のハンディを乗り越えている。

秋田県中学生強化選手出身の石井・松尾・安藤が在籍し、松尾選手は1年生ながら今冬の全国高校駅伝にも出場。



監督紹介

～当たり前前ことを当たり前前。苦しいことでも、自分のためにやって欲しい～



これまで多くのランナーを育て、輩出し続けてきた指揮官 大友貴弘(おおとも たかひろ) 監督。自身の競技畑はレスリング。東京で7年間勤めた後秋田へ移り、前任校の本荘高校で教壇に立ち、平成12年に現在の秋田工業高校へ赴任し今年15年目を迎える。赴任当初は20数名の選手が在籍していたが、次第に長距離選手が増え、現在は長距離チームとして活動している。

「個人の成長無くして結果無し」と、大友監督は言い切る。放課後と毎朝の練習では常に伴走し、選手たちのランニングのポイントへ先回りしては、フォームや位置取り、昨日の課題への今日の取り組みなどあらゆる視点をもって、上は選手の表情から下はシューズの紐の状態までを瞬時に見分け、個々のその時々的心を読み取っていく。たとえば、トレーニング時に靴紐が解けたままでいられる状態が指す意味というのは、気の緩みや意思の無さの最たるもの。選手らの小さな変化を決して見落とさない。

無論、練習だけが全てではない。日頃、選手の立ち居振る舞いや言動から、どんな言葉をかけるか、言葉をかけるべきか。時には突き放し、自身で考え答えを出すまで待つ。人対人の細やかな駆け引きを積み重ね、まさに親心でもって、これまで目の前の何人もの選手たちに自律と自立を促してきた。



スケジュール

- | | | |
|-------------|------------------|-------------------|
| 1月：都道府県対抗駅伝 | 5月：支部総体 | 9月：八郎潟駅伝、ミニ国、全県新人 |
| 2月：千葉クロカン | 6月：全県総体 | 10月：国体県予選 |
| 3月：伊那駅伝 | 7月：合宿 | 11月：東北高校駅伝、記録会 |
| 4月：山田ロード | 8月：インターハイ、合宿支部新人 | 12月：全国高校駅伝 |



ラストスパートへ向けて (新3年生たち)

キャプテン

湊谷 春紀 (2年) 出身校：大仙市立平和中学校 (中学時所属：野球部)



「チームをしっかりまとめ、新しい伝統を築き上げたい」と、前キャプテンからたすきを継いだ。

選手として大切にしていることは「人間力と競技力」の2つの向上。掲げた目標に向かいやるべきことをきちんとやり、常に全国レベルを意識して取り組むことを大切にしている。チームとしても、粘り強く、攻めの走りで記録を更新していきたいと抱負を語ってくれた。

【応援してくれる方々へ一言】

日頃、支えてくださる方や応援してくださる方に感謝して、それを力に代えて、走りで恩返しできるように頑張ります！

【座右の銘】

NO PAIN, NO GAIN!!

續木 悠也 協和中学校(野球部)出身

【キャプテンへのメッセージ】

がんばりましょう！！

【2014年の決意】

IHの3000m障害で優勝(8分50秒)
都大路3位以内入賞

【座右の銘】

努力に勝る天才なし!!

松尾 祐希 鷹巣中学校(陸上競技部)出身

【副部長へのメッセージ】

競歩の練習を見てくださってありがとうございます。今年は目標達成のためにレベルの高い練習をしています。またよろしくお祈いします。

【2014年の決意】

IHと国体で5000m W入賞
都大路3位以内

【座右の銘】

温順篤実

佐藤 圭太 山王中学校(サッカー部)出身

【キャプテンへのメッセージ】

お互い協力して頑張りましょう。

【2014年の決意】

故障せず充実した1年を送る、IH出場
都大路3位入賞

【座右の銘】

ピンチはチャンス

熊井 諒 城南中学校(陸上競技部)出身

【家族へのメッセージ】

18年間の感謝の思いをもって頑張ります。

【2014年の決意】

5000m W全国入賞、都大路3位入賞

【座右の銘】

可能性を信じる

太田 和寿 角館中学校(野球部)出身

【監督へのメッセージ】

これからもご指導お願いします。

【2014年の決意】

12月の都大路で選手として参加する
5000m 15分00秒、都大路3位入賞

【座右の銘】

努力は運を支配する

石井 僚 大曲中学校(陸上競技部)出身

【家族へのメッセージ】

いつも応援ありがとうございます。
高校生活最後、悔いの残らない走りを行います。これからも応援、お願いします。

【2014年の決意】

都大路3位入賞、5000m 14分20秒

【座右の銘】

自分に負けない

奈良 府哉 大館国際情報学院中学校(陸上競技部)出身

【部長へのメッセージ】

いつも的確なアドバイスありがとうございます。体に気をつけてください。

【2014年の決意】

IH入賞(800m 1分55秒、1500m 3分55秒、3000m 8分30秒、5000m 14分30秒)
都大路3位入賞

【座右の銘】

やらずに後悔するより、やって後悔しろ!!

伊藤 篤也 鷹巣中学校(陸上競技部)出身

【監督へのメッセージ】

これからもご指導よろしくお祈いします。

【2014年の決意】

全国高校駅伝3位

【座右の銘】

ありません

菅原 勇聖 城南中学校(陸上競技部)出身

【部長へのメッセージ】

困っている時にアドバイスをいただいたりいつもありがとうございます。

【2014年の決意】

都大路入賞!、5000m 14分10秒

【座右の銘】

継続は力なり

2年目への挑戦 (秋田県中学生強化選手第1期生)

松尾 淳之介 (1年) 鷹巣中学校(陸上競技部)出身



【高校生になっての一番の変化は?】

練習の質が変わり、クールダウンやアフターケアをしっかりとするようになった。寮生活になったのも大きな変化。自分のプラスになるよう一日一日、一時間一時間大切にしている。

【自分のアピールポイント?】

積極的に前向き

【2014年の決意】

- ・エースの自覚をもって、チームを引っ張る
- ・インターハイ入賞を目指して日々努力する

【応援してくれる方たちへ】

しっかりと感謝の気持ちを持って、その思いを結果であらわし、恩返しができるようにしたい。そして、元気を与えられるような走りをしたい。

安藤 駿 (1年) 上小阿仁中学校(陸上競技部)出身



【高校生になっての一番の変化は?】

毎日10km以上走る。練習した分だけ強くなることを試合で実感した。また、寮生活を行うことで集団で行動することを学び、決まりを守ることの大切さを知った。

【自分のアピールポイント?】

スピードを活かして積極的に攻めるところ

【2014年の決意】

- ・ケガなく一年間継続し、主要大会で結果を残す
- ・生活の在り方を改めて、結果へとつなげる

【応援してくれる方たちへ】

「秋田」を東北・全国へもっと広め、応援して下さる方々が観て喜んだり楽しくなったりしてもらえるような走りを行います。そうすることで感謝を伝えたいと思います。

トレーニングメニュー

【オフシーズン】

距離やサーキット系のトレーニングで身体へ負荷をかけ、あわせて補強などもこなし土台作りに励む。

【インシーズン】

スピード系や心肺機能に負荷をかけるような組み立ての内容が中心となり、さらに遠征などを重ねることで実践のパフォーマンスを意識したトレーニングで頭と身体を整える。



強化拠点校紹介



秋田市立秋田商業高等学校 サッカー部

学校データ

大正9年に秋田市商業高校として開校し、昭和23年度に「秋田市立商業高等学校」に改称。この時から男女共学となり現在は717名（男子301、女子416）の生徒が学んでいる。「校訓三綱領」は、大正9年4月黒沼義介初代校長によって制定されたもの。以来「秋商」は、この精神に則り社会の要請に応えるべく、多くの有為な人材を輩出してきた。平成12年の創立80周年を機に、「三綱領」の精神継承の声があがり、平成14年、新校訓『感謝・勤勉・鍛練』が制定された。「秋商」の歴史と伝統につながる現在を深く自覚し、



日々、そして将来にわたって目指すものとなっている。

部活動が盛んで、野球部、サッカー部、レスリング部、水泳部、吹奏楽部（マーチング）など全国レベルで活躍する部が多数あり、プロスポーツ選手も輩出している。商業系の科目を重視しており、様々な資格の取得にも力を入れている。



校長室には各部活の優勝旗が20本以上もある



選手権：秋田大会の優勝トロフィーがずらり並んでいる

チーム紹介



選手権：全国優勝の盾

昭和23年に創部。過去には高校サッカー選手権大会で2回、インターハイで1回の全国制覇を成し遂げている。しかしながら、近年は全国大会に出場しても、思うような結果を出せず、平成23年度、24年度は2年連続全国への切符を逃している。しかし、今年度は3年ぶりに選手権大会出場を果たすことができた。1回戦敗退であったが、レベルの高さを肌で感じることができ、次年度に向けて大きな前進となった。既に新チームもスタートしており、2月に行われた東北新人大会ではベスト4の成績を残した（準決勝以降の試合は雪のため中止となった）。今年度からJ3へ昇格したブラウブリッツ秋田の中心選手である熊林親吾や、J1のFC東京で活躍している加賀健一も同校の卒業生である。



○スタッフ紹介

部長	小林	克博
副部長	宮塚	信博
監督	鎌田	修明
コーチ	横山	芳久
	高橋	浩二
テクニカルアドバイザー	富樫	豪

鎌田 修明 監督



大好きなサッカーを全力でプレーできる環境を自らつくって欲しい。私生活や学校生活がすべてプレーにつながっている。プレーする場所は決してグラウンドだけではない。プレー（生活）する場所の広さが、人間の懐の広さにつながる。「社会に通じる人間性」の育成をモットーに、人間としてもプレーヤーとしても全国で挑戦できる選手を育成したい。

今年度3年ぶりに出場した選手権大会であったが、肌で感じたことは「大きな差」ではなく、「紙一重」ということであった。一瞬、一瞬の積み重ねが、大きな結果となってかえってくることを実感できた。これは、3年生が残してくれた大きな財産である。この財産と毎日の積み重ねを大切に、全国の舞台で今一度、「秋商サッカー部」が輝けるよう頑張りたい。



全国高校サッカー選手権大会へ3年ぶり40回目の出場を決めた秋田県大会



小林 かつ 克 部長



全国高校サッカー選手権大会で2度優勝、インターハイで1度優勝という、歴史と伝統がある母校に勤務して1年が経過しようとしている。輝かしい昔の栄光とは裏腹に、近年は全国大会においてなかなか勝ち進んでいないという現実がある。「秋商サッカー」の良い部分を継承しながら、その根幹にさらなる肉付けをし、一勝負したい。近年のサッカーは技術や戦術的な部分だけではなく、スピードやハードワークも厳しく・激しく求められており、フィジカルの要素が重要視されている。これは「秋商サッカー」が大切にしてきた部分でもあり、ここをしっかりと鍛え上げつつ、日々の練習の中で相手を上回るための知識や技術を身につけていきたい。

また、普段の生活や学習面も重要であると感じている。日常の「志の高さ」や「行動力」が、サッカーでの成長を促してくれる。学校生活での日々の取り組みを大切にしたい。

キャプテン 小玉 ゆうと 裕翔 (FW)



中学までは全国の舞台を経験したことがなく、正月の選手権大会が全国のデビュー戦。いつもとは雰囲気が違い、気持ちが高まりとても楽しかった。自分の力を十分に出し切れなかったので、次こそは発揮したいと冷静に自己分析できる。

新チームになり、キャプテンになったが、3年生の偉大さがわかった。秋商の良さであるお互いに声を出しながら走れるチームをベースに、今後はパスもつなげてゲームを支配し、攻撃面でのバリエーションを増やしたい。常に全国との差を埋めるような練習を意識し、技術の差はあるが走りの質を向上してサッカーを理解しながら先輩達の築き上げてくれたものを継承していきたい、と抱負を語ってくれた。

目標は「インターハイと選手権で確実に1回戦突破して勢いに乗って優勝したい」古豪復活に期待したい。

プレーイングマネージャー 藤井 浩久 (MF)



小学校から見ている選手権で最多出場校の伝統校にあこがれて神奈川県から入学した。中学までの実績は県大会でベスト8、レギュラーを目指して入部したが選手権後にプレーイングマネージャーに抜擢。正直、悔しかったと話す、キャプテンをサポートしみんなが試合に集中できる環境づくりをしたいと献身的である。監督、選手との狭間に立ち練習の準備や、チームの生活面を指導する。常にチームの雰囲気を明るくするムードメーカー的存在。(笑顔も素敵です)

3年生はチームの「顔」と自覚しながらも、満足したら成長は止まると、自分に厳しい。両親やいろんな人に感謝の気持ちを持ち恩返しできるように頑張っている。

目標は「全国大会で優勝！」相手を見て判断して賢くプレーするチームになりたいと意気込みを語ってくれた。

年間スケジュール

4月	リーグ戦		
5月	リーグ戦	支部総体	全県総体
6月	リーグ戦	全県総体	東北大会
7月	リーグ戦		
8月	リーグ戦	インターハイ	ミニ国体
9月	リーグ戦	支部新人	
10月	選手権大会	秋田大会	
11月	プリンスリーグ	参加戦	
		全県新人	
12月	選手権大会		
1月	選手権大会		
2月	東北新人		
3月	強化遠征等		



練習メニュー

・平日	16:00~19:00	ボールトレーニング、フィジカルトレーニング
・土日祝日	9:00~16:00	リーグ戦 トレーニングマッチ ボールトレーニング
・内容		
月曜		ビデオ分析
火曜		フィジカルトレーニング
水曜		ボールトレーニング
木曜		ボールトレーニング
金曜		ボールトレーニング
土曜		リーグ戦 トレーニングマッチ
日曜		リーグ戦 トレーニングマッチ
祝日		リーグ戦 トレーニングマッチ



富樫 豪 (テクニカルアドバイザー)



秋田商業のOBで高校時代はFW。3年次に出場した選手権の1回戦では、2得点を挙げるなど活躍した。その後JFL参加のブラウブリッツ秋田で活躍し2008年のリーグ戦ではチーム得点王となった。2012年に引退後、現在に至る。

日中は県体協に籍を置き仕事をこなし、夕方からは秋田商業へと向かう。チームでは目指す戦術を自分自身がしっかりと理解し、選手に伝え、選手がピッチ上でより良い判断を選択出来るようサポートしている。県勢が近年、全国の舞台で感じている得点不足。リトリートされた守備をこじ開ける運動性にスピード、タイミングなどを意識させ、攻撃への組織力と個の力の向上に日夜、力を注いでいる。

「選手にはゴールを奪う積極性を忘れず、ゴールの喜びと勝利の喜びをチーム全員で共有して欲しい。そして選手全員が日本のトップで活躍し、卒業後もサッカーを続けたいと言ってくれるような育成を心掛けたい」と語ってくれた。(監督不在の時は、技術指導やミーティングもこなす)





学校データ

昭和3年に県立金足農業学校として創立、昭和23年に県立金足農業高等学校と改称され、85年が経過した。県都に位置する農業高校として、農業教育を通して豊かな人間性を培い、実践力と創造性に富む人材を育成するという教育目標のもとに、県内における農業教育の中心的役割を担っている。「自主」「勤労」「感謝」を信条としながら、「時間厳守・挨拶励行・整理整頓」の金農三生活信条のもと、地域に根ざした幅広い教育活動を展開している。平成25年3月までに21,986名の卒業生を輩出しており、農業分野をはじめとしてあらゆる分野で県内・県外において活躍している。また部活動では、大相撲力士、プロ野球選手、プロボクサー等、多数のアスリートを輩出している。

チーム紹介

昭和20年に創部、昭和54年インターハイ団体初優勝、昭和57年インターハイ団体2位、昭和59年インターハイ団体3位、高校横綱に輝いた田代勝寿、国体2連覇の伊藤淳をはじめ、多くのOBがインターハイ、全国選抜において団体、個人



で入賞している。また、大相撲では元関脇開隆山、現幕内力士豪風がいる。

現在、人数は少ないが県内外の強化合宿、各種大会を通じ様々な経験を積み、部員達は高い目標を掲げ日々の稽古に打ち込んでいる。

スタッフ紹介

- 部長 小林 晃
- コーチ 鈴木 康記
- テクニカルアドバイザー 西方 大介



監督紹介



- 伊藤 淳
- 井川町出身
- 金足農業高校—日本体育大学 同校在職11年目

堅忍不拔の精神を礎として人間形成に重点を置いて指導にあたっている。選手には自ら苦しさを求め切磋琢磨する力を養い、考える相撲（指導されたことへの理解、研究心、自発性）を取れるようになってほしい。また、生徒が自分に自信を持って毎日心置きなく稽古できる環境作りに努めている。人数



が少ない分、生徒一人一人に指導できる時間が多く、生徒との信頼関係をより強固にしながら、それぞれの取り口に合った形や力の出し方を見だし、やらされる稽古ではなく自らやる稽古を確立して4月から始まる大会に臨ませたい。

(相撲に興味のあるみなさんへ)

相撲をやる生徒が非常に少なく、部員確保に毎年頭を悩ませています。金農相撲部では道場も開放していますので相撲を見学、またはやってみようという小、中の児童や生徒の皆さんがおりましたら道場に足を運んでいただければと思います。また、こちらから指導に伺うことも可能なのでよろしくお願ひします。





キャプテンコメント



渡部 ^{れん} 蓮 (1年)

3年生4名が卒業し、1年生3人の新チームとなりました。私たち3人にはそれぞれ強化しなければならない課題が沢山あります。今後一つひとつやるべき課題を稽古でクリアし、今年最初の目標である全県総体で全員が勝ってインターハイへの切符を手にしたいと思います。また、強化拠点校の選手としてプライドを持ち、今はまだ力不足ですが、最高の環境で何不自由なく稽古できるこの道場で、最終学年になった時は、多くの先輩達の成績を超えられるように研さんを重ね、結果を残したいと思います。

年間スケジュール

- 4月 全県春季大会
- 5月 強化遠征合宿 (茨城・在京大学・相撲部屋等)
総体強化合宿・支部総体・全国選抜金沢大会
- 6月 全県総体・東北選手権
- 7月 強化合宿
- 8月 インターハイ・東北総体・強化合宿・全国選抜
十和田大会
- 9月 全県新人・強化合宿・全国選抜宇佐大会
- 10月 国体
- 11月 東北選抜
- 12月 強化遠征合宿 (茨城東洋大牛久)
- 1月 強化遠征合宿 (茨城東洋大牛久)
- 2月 全国選抜弘前大会
- 3月 全国選抜大会・強化遠征合宿 (中央大学・東洋大牛久)

練習メニュー

- ・平日 16:00~18:30
- ・土日祝日 8:30~12:30
- ・内容
- 月曜 基本練習・申し合い・三番稽古・ぶつかり稽古
補強トレーニング
- 火曜 基本練習・申し合い・三番稽古・ぶつかり稽古
補強トレーニング
- 水曜 基本練習・申し合い・三番稽古・ぶつかり稽古
補強トレーニング
- 木曜 休養日
- 金曜 基本練習・申し合い・三番稽古・ぶつかり稽古
補強トレーニング
- 土曜 基本練習・申し合い・三番稽古・ぶつかり稽古
攻め、守り、技の確認稽古・補強トレーニング
- 日曜 基本練習・申し合い・三番稽古・ぶつかり稽古
攻め、守り、技の確認稽古・補強トレーニング
- 祝日 基本練習・申し合い・三番稽古・ぶつかり稽古
攻め、守り、技の確認稽古・補強トレーニング



テクニカルアドバイザー紹介



- 西方大介
- 井川町出身
- 金足農業高校—日本体育大学

私が指導の時に気を付けていることは生徒の立場になって考え、指導することです。一人ひとりが自分の考え方をもっており、押し付けになってしまうと選手の個性がなくなるからです。また、選手とのコミュニケーションを大事にしており、選手の悩みなどに耳を傾けています。

今年は、新入部員が3名加わり、部員が7名となりました。フルメンバーで団体を組めるようになり、団体が全県制覇を目標に1年間取り組んできましたが、目標を達成することはできませんでした。ですが、選手は自分の持っている力を全部出し切り、優勝したチームと互角の戦いができました。昨年の9月からは新チームとなり、1年生3人で再出発しています。若いチームですが、今年の3年生ができなかった全県制覇を目標に今は基礎、基本を中心に指導しています。



秋田県スポーツ科学センターだより【平成26年度事業予定】

スポーツ医科学班

スポーツ医科学班では、「スポーツ振興計画」に基づき、生涯スポーツ、地域スポーツ、競技スポーツの中で特に競技スポーツを中心に支援しています。秋田県の競技力向上を図るため、トップアスリートやジュニア層（中学生強化選手・高等学校強化拠点校等）の指導者・選手・チームへの医科学・情報面から強化事業を実施しています。今年度は、より充実した事業展開を目指し、取り組んでいきたいと思っております。

1. 体力診断事業

(1) アスリート診断

国体、インターハイ等、全国レベルで活躍が期待される選手を対象に血液・尿検査、体力診断を実施し、トレーニング、メンタル、メディカル、栄養等の面から個々に応じた科学的なフィードバックを行います。

(2) 一般体力診断

ア、健康体力づくりコース……これからスポーツを始めようと思っている方、体力アップをはかりたい方のために測定結果に基づいて、健康体力づくりの視点から日常でできる運動の指導を行います。

イ、筋力向上コース……競技者を対象に筋力アップ・競技力アップを目指すアスリートのために一般的な体力測定に加え、全身持久力や筋力及び筋持久力の分析・評価を行い、その結果に基づいたアドバイスをいたします。

ウ、動作分析コース……運動動作をカメラで撮影し、自己のパフォーマンスの向上に役立てることができます。

2. スポーツ指導者の養成事業

スポーツに携わる指導者・選手を対象にスポーツ医科学に関する研修や、競技力の向上、コーチングやその実践に関する各種講座・講習会を実施します。

・「メンタルトレーニング講習会」

第1回 期日：平成26年 5月17日(土)

第2回 期日：平成26年 11月22日(土)

・「スポーツ医科学研修講座」

期日：平成26年6月29日(日)

・「スポーツ栄養学研修講座」

期日：平成26年9月27日(土)

・「トレーナーステップアップ研修会」

第1回 期日：平成26年 5月18日(日)

第2回 期日：平成26年 9月 7日(日)

第3回 期日：平成26年 12月14日(日)



スポーツ医科学研修講座

3. トレーナー派遣事業

スポーツ医科学の知識と技術を有し、実践できるトレーナーを強化合宿や東北総体、国民体育大会等の全国大会へ派遣し、応急処置やコンディショニングを実施して競技者のより高い能力の発揮を目指します。また、研修会を実施し、専門的知識や技術の習得とトレーナーとしての力量の維持向上に努めています。

4. AKITAスーパーわか杉っ子発掘プロジェクト

国際舞台で活躍できるアスリート輩出のための「タレント発掘モデル事業」として、県内の優れた素質を有する競技者を発掘し、専門的な意識や技能を学ぶ育成プログラムを実施します。現在、秋田県ではフェンシング競技に特化して行っています。タレントの中からは、国際試合、全国大会、海外試合などで上位入賞を果たすなど成果が出ています。来年度も発掘・識別を図るためのジュニアチャレンジスクールやタレント発掘オーディションを実施します。小学校3・4年生の皆さんは、ふるってご参加ください。



スポーツ振興班

本県における生涯スポーツ推進の拠点として、当センターが有する機能を最大限に生かし、県民の多様な運動欲求、年齢及び目的に応じた健康教室の開催や運動プログラムを県民に提供し、運動の生活化を図り明るく活力ある元気な秋田をめざしています。

スポーツ振興班の主な事業予定を紹介します。

1. あきた元気アップスポーツ推進事業

(1) 各種スポーツ・健康教室の開催

- ①あきた元気アップ円熟塾（通年）火（午前）、水（午前・午後）週3回
- ②ウオーキング教室（通年）第2、第4木曜日

(2) 県庁出前講座及び関係教育施設との連携事業

- チャレンジデー〔H26.5/28(水)〕23市町村(12市9町2村)

2 秋田県広域スポーツセンター事業

(1) 広域スポーツセンター企画運営委員会の開催 5/9(金)、9/12(金)、H27.1/23(金)

- ※開催前に企画部会(5回)を開催予定 4/11(金)、6/26(木)、8/8(金)、10/17(金)、12/18(木)

(2) 秋田県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会に関する支援

- ①連絡協議会役員会の開催 4/11(金)、8/29(金)、H27.1/30(金)
- ②総合型地域スポーツクラブ連絡協議会総会・研修会の開催 4/21(月)
- ③総合型地域スポーツクラブ地区交流会の開催
県北：田代 11/29(土) 県央：天王 10/26(日) 県南：角館 10/25(土)
- ④秋田県総合型地域スポーツクラブ全県交流大会の開催 湯沢 11/15(土)

(3) クラブマネジャー養成講習会等の開催

- ①総合型地域スポーツクラブマネジャー養成講習会 7/5(土)～7/6(日) ユースバル
- ②総合型地域スポーツクラブ活動推進セミナーの開催 6/13(金)
- ③総合型クラブマネジメント情報交流セミナーの開催(県内2地区予定)

(4) 総合型地域スポーツクラブの設立、育成及び活動に関する支援

- ①総合型地域スポーツクラブアドバイザーの配置(平成25年度から)
- ②総合型地域スポーツクラブ創設支援研修会の開催 5/14(水)、8/22(金)、12/12(金)
- ③総合型地域スポーツクラブ創設支援訪問・育成支援訪問の実施
- ④スポーツへの参加機会拡充事業

※県内全域で成人を対象としたスポーツ教室事業を展開(公募)

3. 秋田県スポーツ推進委員協議会業務

(1) 秋田県委託事業の実施『全県体カテスト・スポーツ実態調査』(25市町村)

(2) 県協議会事業の開催 理事会・評議員会の開催 総会 4/18(金)

- (3) 各種研修大会
 - ・全国大会 9/25(木)～26(金) 岩手県盛岡市
 - ・東北大会 7/11(金)～12(土) 山形県米沢市
 - ・全県大会 5/24(土)～25(日) 大仙・仙北・美郷
 - ・女性スポーツ推進交流のつどい 6/21(土) 大館市

(4) スポーツ推進委員功労者表彰(文科表彰・全国表彰・東北表彰・県表彰)

(5) 広報誌「県民のスポーツ」の発行 (H27.3)

4. スポーツ指導者の養成

(1) 秋田県ウオーキング講習会 10/26(日)

(2) 秋田県スポーツ推進委員初任者研修会 10/19(日)

(3) 秋田県8人制バレーボール審判員認定講習会 (5/10、8/2、H27/2/21)

(4) 円熟塾指導者・リーダー養成講座(3年目)



8人制バレーボール審判員認定講習会

問い合わせ先 **018-864-7911**



平成25年度 秋田県中学生強化選手競技力向上研修



平成26年1月11日(土)～12日(日)の2日間にわたり、秋田県青少年交流センターにおいて県中学生強化選手競技力向上研修が行われた。この研修は、

日程表

日時	1日目 1月11日(土)	2日目 1月12日(日)	
6:30		起床 体育館集合(6:30)→体操	-
7:00			
8:00		朝食(7:00～) 清掃・整理整頓・準備・整列(8:20)	-
9:00		【エアロビクス】(8:30～9:30) 講師：篠原育子(日本エアロビクス連盟指導専門委員) 川尻邦子(トータルフィットネス秋田 代表) 高橋美香子(日体協公認エアロビクス指導員)	-
10:00		休 憩	
10:00	【開講式】(10:00～10:20)		
11:00	【救急法(応急手当講習)】(10:30～12:00) 講師：竹澤雄基(救急法指導員) 長谷川弘一(救急法指導員) 佐々木靖彦(救急法指導員)	【フィットネス】(9:45～12:00) 講師：高野洋平(県スポーツ科学センター) 仲澤正人(おとり整骨院 院長) 渡部真吉(ワタナベ整骨院 院長)	-
12:00	休 憩・昼食(12:00～12:30)	休 憩・昼食(12:00～12:45)	-
13:00	【水分補給】 講師：大塚製薬(12:45～13:00)		
14:00	【メンタルトレーニング】(13:00～14:30) 講師：野村朋世(県スポーツ科学センター)	【食育】(13:00～14:00) 講師：大野智子(管理栄養士：聖豊女子短期大学)	○
15:00	休 憩	【ドーピング防止】(14:15～15:15) 講師：島海良寛(薬剤師：南とりうみファーマシー)	○
15:00	【接遇】(14:45～15:45) 講師：佐々木茂道(秋田キャッスルホテル)	【閉講式】(15:20～15:30)	
16:00	休 憩		
17:00	【国際理解講座】(16:00～17:30) 講師：国際交流員 ランディー・ウメツ(米) 国際交流員 ソボレフ・ワジム(露)		
18:00	部屋割り発表・荷物移動 休 憩・夕食(18:00～18:45)		
19:00	着替え・休 憩		
20:00	【学習指導】(19:00～20:30) 講師：アイデアグループ		
21:00	【コミュニケーション】(20:30～21:00)		

2日目午後の研修は、保護者もふろしでご参加ください。



代表決意表明
佐藤 旭 選手

丸果秋田県青果株式会社による寄付金を一部活用して行われたものであり、1・2年生の強化選手を対象とし、(レスリング・将軍野中学校2年)13競技から61名が参加した。

今回の研修では、トップアスリートに必要な資質を身につけるため、様々な分野からの知識を得ることで、競技力の向上及び人間形成に寄与することを目的とし、救急法、メンタルトレーニング、接遇、国際理解講座、学習指導、エアロビクス、フィットネス、食育、ドーピング防止講習が行われた。

参加競技・人員

サッカー	8
ハンドボール	1
剣道	7
フェンシング	3
テニス	3
新体操	5
柔道	11
レスリング	7
バドミントン	2
ソフトボール	4
ソフトテニス	7
卓球	2
スケート(スピードスケート)	1
合 計	61



■研修内容・目的

- ◇救急法（応急手当講習） … スポーツに伴う障害を理解し、それを未然に防ぐ方法を学ぶ。
- ◇メンタルトレーニング …… 試合で勝つための練習や日常生活からできる心理的準備スキルを学ぶ。
- ◇接 遇 ……………… 礼儀やマナーを通して相手を尊重することの大切さを知り、人間としての内面を磨く。
- ◇国際理解講座 ……………… 国際交流員との会話を通して、他を受け入れると同時に自分を主張する方法を学ぶ。
- ◇学習指導 ……………… 効率良く、効果のある学習の仕方を身に付ける。
- ◇エアロビクス ……………… 全身の有酸素運動を通して、柔軟性、巧緻性、敏捷性等を高める。
- ◇フィットネス ……………… トレーニングの目的と方法を学び、それを身に付けると同時に所属チームへの還元を図る。
- ◇食 育 ……………… スポーツ選手としての食事方法を学び、自己管理意識を養う。
- ◇ドーピング防止 ……………… スポーツ界におけるドーピング防止活動の必要性・重要性を理解する。

■研修の様子



開 講 式



救急法（応急手当講習）



メンタルトレーニング



学 習 指 導



国際理解講座



エアロビクス



フィットネス



ドーピング防止



食 事

参加者からの感想

☆成 田 望 愛（新体操・御所野学院中学校1年）

今回の合宿で、違う種目の人や先生方とたくさん交流することができたと思います。また、救急法や学習の仕方も教わることができたので、とても有意義な時間を過ごすことができました。

☆長谷川 悠（サッカー・泉中学校1年）

今回は、スポーツをするうえで大切なことをいろいろ学びました。精神面から礼儀、フィットネスなど、日頃行わない貴重な体験ができました。合宿で学んだことを活かし、これからもサッカーの上達に励みたいと思いました。

☆加 藤 杏 菜（卓球・大曲中学校1年）

他の競技の人とも仲良くなれたし、たくさんの人と交流することで苦手なコミュニケーションも大切なことだとわかりました。エアロビクスやフィットネスでは体を使って動き、苦しい時もあったけど楽しかったです。また、このような場を設けてほしいと思いました。



平成26年2月2日(日)、秋田キャッスルホテルにおいて秋田県競技力向上研修が開催され、県内の中学生・高校生アスリート及びその保護者・指導者、各競技団体及び一般参加者約200名が参加した。

今回の研修は、秋田県の競技力向上を目的とし、『PEP TALK! ~やる気を引き出す魔法の言葉~』と題して、日本ペップトーク普及協会会長の岩崎由純氏が「PEP TALK」の必要性を参加者に伝えた。



【講師】岩崎由純氏

日本ペップトーク普及協会 会長
トレーナーズスクエア(株) 代表取締役
日本コアコンディショニング協会 会長
全米アスレティックトレーナーズ協会公認アスレティックトレーナー (NATA-ATC)

「PEP TALK」とは、スポーツ選手を励ますのに指導者やリーダーが試合前(本番前)に使う「短い激励のメッセージ」のことで、日本を代表するアスレティックトレーナーである岩崎氏がアメリカのスポーツ現場で学んだ「勇気を与える感動の言葉がけ」を、応援したい身近な人に伝えるコミュニケーションスキルとして確立したものである。

参加者からの感想

【選手】

- ☆自分のできるできないは、自分のイメージが大きく関わってくると思いました。自分も試合前などに、失敗することを考えてしまうことが多かったように思えました。より成功のイメージを持って何事にも取り組んでいこうと思いました。
- ☆自分自身ネガティブな言葉を使っていることが多く、それではいけないと思いました。可能性を信じ、今の自分の最大限の力で勝負したいと思います。また、良いイメージを大切にし、他人からではなく、自分の力で変えていきたいと思います。

【保護者】

- ☆言葉の使い方一つで考え方がこんなにも変わるのかと驚きました。子どもにかけている言葉を思い起こし、反省することも少なくありません。ペップトークができるように自分の思考も変えていこうと思います。
- ☆子どもに何をどう伝えたら良いのか明確になりとても助かりました。子どもも参加していたので反応が楽しみです。少しずつになるかもしれませんが、言葉を伝えていきます。

【指導者】

- ☆日頃から選手へのアドバイスについて自分なりに考え、かみ砕いて説明しているつもりですが、今回の講話を聞き、さらに選手一人ひとりにやる気スイッチを入れられる良きアドバイスを今後送っていききたいと思います。
- ☆子どもたちの指導に役立つ多くのヒントをいただきました。監督、コーチ、指導者の言葉遣いの重要性を改めて理解させていただきました。



平成25年度 スポーツ秋田この一年

- 4月：「スポーツ立市よこて」宣言式典を開催。
2013年JOCジュニアオリンピック・全日本ジュニアレスリング選手権大会 66Kg級フリーで多胡島伸佳選手が優勝。
- 5月：定例理事会、定時評議員会において県体協役員改選。
- 6月：プロボクサー三浦隆司選手がWBC世界スーパーフェザー級チャンピオンとなり県民栄誉章を受賞。
バドミントン日本ランキングサーキット大会女子単で楠瀬由佳選手が初優勝。
第73回全日本ウエイトリフティング選手権大会兼第27回全日本女子ウエイトリフティング選手権大会開催。本県での開催は44年ぶり2度目。
第8回カヌーアジア選手権大会カナディアンシングルで佐々木将汰選手が優勝。
第1回県競技力向上連絡協議会を開催。
第4期県中学生強化選手指定証交付式を挙行。
- 7月：プロ野球フレッシュオールスターゲームを本県で初開催。
「スポーツ立県あきた」応援チャリティーゴルフコンペを開催。
- 8月：北部九州インターハイ（大分、福岡、佐賀、長崎）に28競技に467人が参加。
第17回日韓青少年夏季スポーツ交流事業（日本体育協会主催）が大韓民国・仁川広域市で開催。本県選手、コーチ等114名参加。
県競技力向上研修を開催。
- 9月：第68回国民体育大会（スポーツ祭東京2013）結団式を開催。
全国高等学校女子ウエイトリフティング選手権大会 75kg級で佐藤佳奈選手が優勝。
- 10月：第68回国民体育大会（スポーツ祭東京2013）において天皇杯39位、皇后杯42位。
カヌー・ワイルドウォーター成年男子カヤックシングル・スプリントで佐々木優選手が優勝。
陸上競技少年男子B走幅跳で清水航己選手が優勝。
- 11月：県スポーツ少年団創設50周年記念式典を挙行。
日本スポーツマスターズ2016の開催が正式決定。
サッカー・ブラウブリッツ秋田がJ3参入承認。
第2回県競技力向上連絡協議会を開催。
第5期県中学生強化選手指定証交付式を挙行。
県体育協会創立90周年記念式典を挙行。
- 1月：県中学生強化選手競技力向上研修を開催。
bjリーグのオールスターゲームを本県で初開催。
- 2月：県競技力向上研修を開催。
第51回全国中学校体育大会スキー競技ノルディックコンバインドで湯瀬瞬選手が優勝。
第46回全日本実業団バスケットボール選手権大会で秋田銀行女子バスケットボール部が2年連続8度目の優勝。
ソチオリンピック冬季大会バイアスロンに鈴木芙由子選手、ノルディック複合に湊祐介選手、スケルトンに笹原友希選手が出場。湊祐介選手がノルディック複合団体で5位入賞。
ソチパラリンピック冬季大会ノルディックスキーに江野麻由子選手が出場。
第55回日本選手権（25M）水泳競技大会女子50M平泳ぎで小林明日香選手が優勝。
秩父宮杯・秩父宮妃杯・寛仁親王杯第87回全日本学生スキー選手権大会女子1部回転競技で向川桜子選手が優勝。
第69回国民体育大会冬季大会スキー競技会（やまがた樹氷国体）天皇杯4位、皇后杯5年連続6度目の優勝。
大回転成年女子Aで向川桜子選手が優勝。
県スポーツ表彰式を挙行。
- 3月：県体協90年史「歓喜と栄光を未来へ」を刊行。
県競技力向上研修を開催。
人見スポーツ賞・畠沢国体賞・辻ジュニアスポーツ大賞表彰式を挙行。



平成25年度(公財)秋田県体育協会 賛助会員

～ 御協力ありがとうございます ～

県体育協会の賛助会員として、事業推進に御協力をいただいております皆様の御芳名を掲載し、謹んで謝意を表しますとともに、引き続き御支援を賜りますようお願い申し上げます。

〔法人会員〕

- | | | |
|---------------------|-----------------|------------------|
| 秋田信用金庫 | (社)秋田県歯科医師会 | 株式会社NIPPO秋田統括事業所 |
| (株)光輪技研 | 船川臨港運送(株) | 太洋ビル管理株式会社 |
| 羽後日産モーター(株) | 秋田いすゞ自動車(株) | 千代田興業株式会社 |
| 臨海砕石(株) | 一般社団法人秋田県ハイヤー協会 | (株)八郎瀧印刷 |
| 秋田ホーチキ(株) | (株)鹿角パークホテル | (社)秋田県バス協会 |
| 秋田指月(株) | 秋田魁会 | 日本精機(株) |
| (有)雄駿 | (株)サノ・ファーマシー | ロイヤルモーター(株) |
| (株)丸臣高久建設 | 東亜道路工業(株)秋田営業所 | コマツ秋田(株) |
| 清三屋商事(株) | 石垣鐵工(株) | 東北森永乳業(株)秋田工場 |
| (社)秋田県建設業協会 | 秋田運送(株) | 秋田県木材産業協同組合連合会 |
| (株)本間 | (株)竹半 | 奥山ポーリング(株) |
| 秋田白玉工業(株) | (医)久幸会 | 名鉄観光サービス(株)秋田支店 |
| (株)秋田温泉さとみ | わかみハート薬局 | 太平山観光開発(株) |
| 秋田ゼロックス(株) | 文化シャッター秋田販売(株) | コクヨ東北販売(株)秋田支店 |
| (医)青嵐会 | (有)すぐる不動産 | 秋田ステーションビル(株) |
| 秋田県武術太極拳連盟 | (医)回生会秋田回生会病院 | 秋田県障害者スポーツ協会 |
| (有)佐々木製作所 | (株)アテック | (株)ユアテック秋田支社 |
| 大塚製薬(株)秋田出張所秋田支店 | (株)ささき | 全国農業協同組合連合会秋田県本部 |
| (医)慈心会寺田内科医院 | ニプロ(株)大館工場 | (株)秋田ケーブルテレビ |
| 秋田県信用保証協会 | 中田建設(株) | 白神森林組合 |
| AKT秋田テレビ | 奥羽電気設備(株) | ネットヨタ秋田(株) |
| (株)東北ビルカンリ・システムズ | (株)エフエム秋田 | (医)慧眞会 |
| みちのくキャンティーン(株)秋田営業所 | (社)秋田県サッカー協会 | 辻不動産株式会社 |
| ルポールみずほ | 東北環境管理(株) | 株式会社友愛ビルサービス |
| 猿田興業(株) | 羽後電設工業(株) | 秋田県柔道連盟 |
| 大堂電機自動車工業(株) | 社会医療法人明和会 | 由利工業株式会社 |
| (株)大同観光 | 一般社団法人秋田県薬剤師会 | 有限会社佐藤養助商店 |
| 医療法人あけぼの会花園病院 | 日本電機興業(株) | 秋田県ソフトボール協会 |
| (株)ルーラル大潟 | (株)黒澤塗装工業 | |
| 秋田県少林寺拳法連盟 | 秋田県バドミントン協会 | |
| (医)弘仁会島田病院 | 伊藤建設工業(株) | |
| ガイドードリンコ株式会社 | 創和技術(株) | |
| (株)男鹿テクノ | 秋田空港ターミナルビル(株) | |
| 堀江建材(株) | タブロス株式会社 | |

〔個人会員〕

- | | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 秋元 昌貴 | 伊勢 準造 | 細谷孝二郎 | 渡辺 正典 | 滑川 利生 | 佐藤 有一 |
| 西村 悦子 | 熊谷金次郎 | 佐藤卯兵衛 | 齋藤 栄一 | 菅原弥三郎 | 金子 良雄 |
| 尾形 隆 | 奈良 正人 | 安藤 進 | 渡部 聡 | 半田 祐毅 | 田中 忠夫 |
| 米塚善之助 | 中村 六郎 | 宮田 正旭 | 児玉 要 | 池田 正 | |

※申し込み順 ※3月7日受付けまで



私たちは「スポーツ立県あきた」を応援しています

【法人】

株式会社アールシー・テック
 株式会社アイセス
 株式会社アイネックス
 秋田運送株式会社
 秋田活版印刷株式会社
 秋田環境システム株式会社
 秋田観光開発株式会社
 秋田キャッスルホテル
 秋田共立株式会社
 株式会社秋田銀行
 株式会社秋田グラウンドリース
 秋田県厚生農業協同組合連合会
 秋田県自動車販売店協会
 秋田県信用組合
 秋田県信用保証協会
 秋田県中小企業団体中央会
 秋田県農業協同組合中央会
 秋田工営株式会社
 株式会社秋田国際カード
 株式会社秋田魁新報印刷
 株式会社秋田魁新報社
 株式会社秋田ジェーシーピーカード
 秋田車体株式会社
 秋田ジंकソリューションズ株式会社
 秋田ジंकリサイクリング株式会社
 秋田新聞輸送
 秋田信用金庫
 秋田製錬株式会社
 秋田ゼロックス株式会社
 株式会社秋田卓球会館
 株式会社秋田中央機工
 株式会社秋田椿台ゴルフクラブ
 株式会社秋田デンカ
 秋田電話工業株式会社
 秋田富士機械株式会社
 あきた保険工房
 株式会社アキタ・ランドシステム
 秋田リサイクル・アンド・ファインバック株式会社
 秋田瀝青建設株式会社
 秋田レアメタル株式会社
 株式会社アクアス
 あさひ自動車株式会社
 アシックス販売株式会社東北支社
 株式会社アド東北
 株式会社安藤醸造
 有限会社伊藤建設
 医療法人久幸会
 医療法人敬徳会藤原記念病院
 医療法人光智会
 医療法人作左部医院
 医療法人豊盛会
 医療法人明幸会中央線診療所
 医療法人祐愛会加藤病院
 羽後電設工業株式会社
 羽後日産モーター株式会社秋田店
 卯根倉鋳業株式会社
 AAB秋田朝日放送
 AKT秋田テレビ
 エコシステム秋田株式会社

エコシステム小坂株式会社
 エコシステムジャパン(株)秋田営業所
 エコシステム花岡株式会社
 株式会社エコリサイクル
 NK東日本株式会社
 ABS秋田放送
 NPO秋田RG愛好会
 NPO法人能代市体育協会
 株式会社エフエム秋田
 有限会社エンドウ
 有限会社奥州食品
 大塚製菓株式会社秋田出張所秋田支店
 大曲仙北地区自家用自動車協会
 株式会社男鹿興業社
 株式会社寒風
 株式会社北日本ベストサポート
 キャタピラー東北株式会社秋田支店
 有限会社工藤スポーツ
 株式会社工藤米治商店
 グリーンフィル小坂株式会社
 有限会社K&B
 株式会社グレイスランド
 厚生ビル管理株式会社
 工房ぬくもり
 小坂製錬株式会社
 有限会社小西タイヤ
 株式会社サキガケアドバ
 株式会社サキガケ・アド・ブレン
 株式会社さきがけ折込センター
 株式会社さきがけサービス
 株式会社さきがけプラスA
 有限会社佐藤養助商店
 株式会社サノ・ホールディングス
 有限会社沢野自動車
 有限会社三協商事
 株式会社サンコーホーム
 三和興業株式会社
 株式会社ジェイエイ秋田葬祭センター
 史跡の里交流プラザ柵の湯
 有限会社俊光建機
 株式会社荘内銀行秋田支店
 株式会社清水組
 東海林武道具店
 株式会社スーパートゥデイ
 株式会社菅与組
 有限会社石心
 積水樹脂株式会社
 株式会社セキト
 株式会社セコ
 全国共済農業協同組合連合会秋田県本部
 全国農業協同組合連合会秋田県本部
 太平興業株式会社秋田支店
 株式会社大洋石油店
 株式会社大雄建設
 合資会社高橋オイルサービス
 有限会社タカハタ自動車
 株式会社竹村製作所
 有限会社タナカスポーツ
 タブロス株式会社

ツカダ商会
 辻不動産株式会社
 株式会社テーエムシー
 東京美装興業株式会社鹿角事業所
 東北通商株式会社
 東北電材株式会社
 株式会社東北ビルカンリ・システムズ
 株式会社フローリスト春花
 東立有限会社
 DOWAエコシステム(株)環境技術研究所
 DOWAセミコンダクター秋田株式会社
 DOWA通運株式会社大館営業所
 DOWAテクノリサーチ株式会社
 DOWAホールディングス株式会社秋田事業所
 DOWAマネジメントサービス(株)花岡地区センター
 株式会社トヨタレンタリース秋田
 中田建設株式会社
 株式会社仲村保険サービス
 西村土建株式会社
 株式会社NIPPO秋田統括事業所
 株式会社日本ピージーエム
 長谷川体育施設株式会社秋田営業所
 株式会社八郎瀧印刷
 花岡土建株式会社
 ハラダ製茶株式会社
 東日本コベルコ建機株式会社秋田営業所
 菱明三菱電機機器販売株式会社
 株式会社備品レンタルセンター
 有限会社ファルマーアキタ
 有限会社深沢電装
 株式会社藤通商
 有限会社ふじエンタープライズ
 有限会社ぶんねん自動車
 ベストトラベル大曲営業所
 有限会社ベストモーターズ
 有限会社PATEK
 株式会社北秋環境サービス
 北秋容器株式会社
 株式会社北都銀行
 堀江建材株式会社
 株式会社松原印刷社
 株式会社マリナーナ秋田
 有限会社丸ノ内サービス
 みちのくコカ・コーポリング株式会社秋田営業所
 美津濃株式会社盛岡営業所
 三ツ星館
 三本コーヒー株式会社
 むつみ建設株式会社
 むつみ造園土木株式会社
 名鉄観光サービス株式会社
 有限会社桃山
 有限会社もやちゃん食品
 山岡工業株式会社
 山下商事株式会社
 ユーアイ警備保障株式会社
 ユナイテッド計画株式会社
 鹿前運輸株式会社

【団体】

秋田県空手道連盟
 秋田県建設機械レンタル協会
 秋田県剣道連盟
 秋田県石油商業協同組合

大館地区DOWAグループ
 大曲仙北剣道連盟
 光風舎竹竿スポーツ

新あきた農業協同組合
 日本空手協会秋田県本部

【個人】

石井 政巳	宇賀神 明	小林 忠雄	荘司 典昭	高橋 健一	奈良 正人	宮腰 智也
石川 維範	大森 亘	佐々木岩男	杉江 宗祐	殿村碩太郎	早瀬真理子	
伊藤キヨエ	小笠原直樹	佐藤 正雄	須田 精一	中川 聖子	船木 隆夫	

※あいうえお順 ※3月7日受付まで



県体協事務局だより

会議録（抄）

12月19日 第5回総務委員会

- ・第4回臨時理事会の議案について

12月19日 第4回臨時理事会

- ・寄付金の申込み状況について
- ・秋田県体育協会創立90周年記念式典等について
- ・秋田県スポーツ推進計画（仮称）素案について
- ・第68回国民体育大会における参加資格違反について
- ・第69回国民体育大会冬季大会秋田県選手団本部役員（案）について
- ・秋田県体育協会創立90周年記念史の頒布計画について
- ・顧問への推挙について

1月10日 第2回審査委員会

- ・秋田県スポーツ賞第1次審査について

1月22日 第2回広報委員会

- ・秋田県体育協会創立90周年記念史について
- ・100周年記念史に向けた対応について

1月22日 秋田県スポーツ賞選考委員会

1月22日 第5回臨時理事会

- ・秋田県スポーツ賞の選考について

2月25日 第3回審査委員会

- ・秋田県スポーツ賞第2次審査について
- ・人見スポーツ賞・畠沢国体賞・辻ジュニアスポーツ大賞の審査について

2月26日 秋田県スポーツ賞第2次選考委員会

人見スポーツ賞・畠沢国体賞・辻ジュニアスポーツ大賞選考委員会

2月26日 第6回臨時理事会

- ・秋田県スポーツ賞（第2回）の選考について
- ・人見スポーツ賞・畠沢国体賞・辻ジュニアスポーツ大賞の選考について

2月26日 第4回強化委員会

- ・平成26年度テクニカルアドバイザーの選考について
- ・平成26年度社会人スポーツ強化チームの指定について
- ・平成26年度選手強化対策費補助事業について

3月7日 第6回総務委員会

- ・加盟団体に対する是正勧告等について

3月13日 第7回総務委員会

- ・第3回定例理事会の議案について

3月13日 第3回定例理事会

- ・業務執行理事の業務報告について
- ・第69回国民体育大会冬季大会の結果について
- ・寄付金の申込み状況について
- ・平成26年度事業計画（案）について
- ・平成26年度当初予算（案）について
- ・公益財団法人秋田県体育協会役員等推薦委員会委員の選任について
- ・公益財団法人秋田県体育協会加盟団体規程の一部改正について
- ・公益財団法人秋田県体育協会スポーツ仲裁に関する規程の制定について
- ・加盟団体に対する是正指導について
- ・臨時評議員会の招集について



今年の1月には、春高バレーにおいて雄物川高校が4年ぶりの3位入賞を果たし、初の決勝進出とはならなかったが、最終セットで32-30と粘り勝ちした準々決勝での戦いぶりは、勝負に対する執念が感じられる見事なものであった。

2月には、ソチオリンピック・パラリンピックが開催され、本県出身の湊祐介選手、鈴木芙由子選手、笹原友希選手、江野麻由子選手が出場し、世界のひのき舞台上で奮闘した。勝敗にかかわらず、それぞれの選手が家族をはじめ、支えてくれた方々に対して述べた感謝の言葉には、スポーツの醍醐味を改めて感じさせられる感慨深いものがあった。

また、やまがた樹氷国体では、向川桜子選手の優勝や僅差で惜しくも優勝は逃したものの、猛烈な追い上げを見せた女子リレー等の活躍により、国体史上3度目となる皇后杯5連覇を達成した。

次年度もまた、本県にスポーツの明るい話題が数多く舞い込むことを期待したい。

最後に、お忙しい中、取材の協力や原稿執筆をいただきました皆様、写真を提供していただきました秋田魁新報社様、ご協力ありがとうございました。

編集者 新林 美保 熊林 孝 伊藤 栄悦
安田 竜 菅生 由我

本格派コーヒー・自動販売機サービス

M.M.C. 三本コーヒー株式会社

秋田支店

〒010-0916 秋田県秋田市泉北3-3-35
TEL 018(865)5461 FAX 018(888)1721

資源を活かして地域社会に貢献

砕石・生コン製造販売業

堀江建材株式会社

代表取締役 鈴木 泚 士

秋田県大館市中道三丁目1番50号
TEL 0186-49-0280
FAX 0186-43-0002

駄菓子・クジ・縁日グッズ
お菓子の袋詰

しもむら



☎832-6766 駄菓子のしもむら 検索

事業内容

会社財務・決算・記帳代行・税務相談・経営助言・
相続・贈与・事業承継対策・医療法人経営指導税務対策

税理士法人
秋田税経プランニング

税理士 木村 了
税理士 進藤 俊作

本店／秋田市南通亀の町4番9号 Tel.018-833-4022(代)
山王事務所／秋田市山王七丁目5番32号 Tel.018-863-7868

松田グループ

株式会社 松田 株式会社 湯沢生コン
株式会社 丸栄建設 株式会社 出羽運輸
株式会社 エイコウ物産

本社／湯沢市鶴館39-4 ☎0183-73-0188
URL <http://matsuda-group.jp>



輝きを汗に 瞳に このまちに
能代山本スポーツリゾートセンター

アリナス

スポーツ 合宿 研修 … に

アリーナ 宿 泊 室
トレーニングルーム レス ト ラ
温水プール 温泉 ス ト ラ
研修室 (サウナ有)
ミーティングルーム



〒016-0014 秋田県能代市落合字下台2番地1
JR能代駅から車で10分
TEL 0185(54)9200 FAX 0185(54)2322
<http://www.noshiroyamamotokouikiken.jp/kouryuu/arinasu/list.html>

美人を育てる秋田米

東年デビュー30周年

30th

あきたこまち

since 1984 JA

あきたこまち

@zennoh



JA 全農あきた

〒010-8558 秋田市八橋二丁目10-16
TEL018-864-2401

あん スポ安全くん

いざというときしっかりサポート

心配しなくて大丈夫

頼りに
なります！



傷害保険

賠償責任保険

突然死葬祭費用保険

スポーツ安全保険



対象となる事故

団体活動中の事故 / 往復中の事故

保険期間

平成26年4月1日午前0時から平成27年3月31日午後12時まで
(申込受付は平成26年3月から)

加入区分・掛金・補償額 団体活動を行う5名以上の方々でご加入ください。加入区分は加入者ごとにご選択ください。

加入対象者	補償対象となる団体活動	加入区分	年間掛金 (1人あたり)	傷害保険金額				賠償責任保険 支払限度額 (免責金額なし)	突然死葬祭 費用保険 支払限度額
				死亡	後遺障害 (級別)	入院 (日額)	通院 (日額)		
子ども 中学生以下 特別支援学校 高等部の 生徒を含む。	スポーツ活動 文化・ボランティア・地域活動	A1	800円	2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円	身体・財物賠償 合算1事故5億円 ただし、身体賠償は1人1億円	突然死 (急性心不全 脳内出血など) 葬祭費用 180万円
	上記団体活動に加え、個人活動も対象 AW区分の特徴：個人活動・個人練習なども補償の対象となります。 上段：団体活動中およびその往復中の補償額 下段：上記以外(個人活動など)の補償額	AW	1,450円	2,100万円	3,150万円	5,000円	2,000円	身体・財物賠償 合算1事故5億500万円 ただし、身体賠償は1人1億500万円	
大人 高校生以上 65歳以上 の方も加入 できます。	文化・ボランティア・地域活動、団体員の送迎、応援、準備、片付け ※スポーツ活動を行う場合は対象となりません。	A2	800円	2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円	身体・財物賠償 合算1事故5億円 ただし、身体賠償は1人1億円 ◆自動車事故によって賠償責任 を負った場合は、補償の対象 となりません。	突然死 (急性心不全 脳内出血など) 葬祭費用 180万円
	スポーツ活動 スポーツ活動の指導・審判	C	1,850円	2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円		
	子どもへのスポーツ活動の指導・審判 ※C区分でも加入可	AC	1,300円	1,000万円	1,500万円	2,500円	1,000円		
65歳以上	スポーツ活動 ※C区分でも加入可 ※スポーツ活動を行わない場合はA2区分	B	1,000円	600万円	900万円	1,800円	1,000円		
全年齢	危険度の高いスポーツ活動	D	11,000円	500万円	750万円	1,800円	1,000円		

※同一団体で1口しか加入できません。中途加入する場合、中途退席する場合も年間掛金を適用します。加入後の加入者の入換え、加入区分の変更はできません。※危険度の高いスポーツ活動はD区分以外では補償されません。

公益財団法人 スポーツ安全協会 秋田県支部

〒010-0974 秋田市八橋運動公園 1-5 秋田県スポーツ科学センター内 TEL018-883-0360

〈(公財)秋田県体育協会内〉
電話受付時間：午前8時30分～午後5時(土、祝日を除く。)

保険の詳細内容、資料の請求は、ホームページをご覧ください。

<http://www.sportsanzen.org>

●資料請求は、インターネットより受付けております。

この広告はスポーツ安全保険(スポーツ安全保険特約書に基づく傷害保険(スポーツ安全協会傷害保険特約・スポーツ安全協会傷害保険特約(学校管理下外担保)・突然死葬祭費用担保特約付帯普通傷害保険)、賠償責任保険(スポーツ安全協会賠償責任保険特約付帯施設賠償責任保険及びスポーツ安全協会傷害保険特約(学校管理下外担保)付帯普通傷害保険賠償責任担保条項))の概要についてご紹介したものです。ご加入の際には、必ず「スポーツ安全保険のあらし」および「重要事項説明書」をよくお読みください。詳細は保険約款および特約書によりますが、ご不明の点がございましたら(公財)スポーツ安全協会または東京海上日動火災保険(株)までお問い合わせください。

(引受幹事保険会社)
東京海上日動火災保険株式会社(担当課)公務第2部公務第1課
TEL 03-3515-4133(平日9:00~17:00)
(共同引受保険会社(平成26年4月予定))
あいおいニッセイ同和 共栄火災 損保ジャパン 大同火災 東京海上日動
日新火災 日本興亜損保 富士火災 三井住友海上
平成25年12月作成 0792-1304-B13259-201312
1701-1304-B13247-201311

スポーツ安全協会 検索
インターネットからも
加入受付を行っており
ます。詳しくは、ホーム
ページをご覧ください。